

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第44期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社菱友システムズ
【英訳名】	Ryoyu Systems Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 富田 敏徳
【本店の所在の場所】	東京都港区高輪二丁目19番13号
【電話番号】	03(5421)5811(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 山本 陽茂
【最寄りの連絡場所】	東京都港区高輪二丁目19番13号
【電話番号】	03(5421)5811(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 山本 陽茂
【縦覧に供する場所】	株式会社菱友システムズ 中部支社 （愛知県名古屋市千種区内山三丁目7番3号） 株式会社菱友システムズ 関西支社 （兵庫県尼崎市潮江一丁目3番30号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第2四半期連結 累計期間	第44期 第2四半期連結 累計期間	第43期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	12,960,702	13,479,084	28,138,761
経常利益又は経常損失() (千円)	754	201,870	673,160
四半期(当期)純利益又は四半期純損失() (千円)	17,814	112,872	332,461
四半期包括利益又は包括利益(千円)	15,319	120,259	387,553
純資産額(千円)	4,832,020	5,279,370	5,234,151
総資産額(千円)	11,922,260	12,221,356	13,090,839
1株当たり四半期(当期)純利益又は 1株当たり四半期純損失() (円)	2.81	17.78	52.36
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	36.9	39.2	36.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	730,545	603,824	605,913
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	124,889	946,939	133,863
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	55,287	95,208	75,094
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	1,345,829	754,091	1,192,415

回次	第43期 第2四半期連結 会計期間	第44期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益(円)	19.39	19.65

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等(消費税及び地方消費税をいう、以下同じ)は含まれておりません。
3. 第43期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 第43期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第44期第2四半期連結累計期間及び第43期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社3社、以下同じ)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、東日本大震災による経済活動の低下や福島原発事故等に伴う電力供給問題の発生に加え、円高の進行等もあり、厳しい状況で推移しました。

当情報サービス産業界においても、景況感の悪化に伴う顧客のIT投資の抑制が行われ、ほぼ横ばいとなりました。

当社グループは、このような事業環境のなか、営業機能の強化を図り受注活動に注力したこと、前年同期に比べ情報処理サービス事業及びシステム開発事業において操業度が向上したこと等により、売上高は増加し、134億79百万円となり、利益は前年同期から改善し、営業利益1億93百万円、経常利益2億1百万円、四半期純利益1億12百万円となりました。（前年同期は、売上高129億60百万円、営業損失20百万円、経常損失0百万円、四半期純損失17百万円。）

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔情報処理サービス事業〕

当事業は操業度の向上により、売上高は33億61百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は49百万円（前年同期営業損失1億8百万円）となりました。

〔システム開発事業〕

当事業は主要顧客における大型開発案件の継続等が寄与し操業度が向上したことにより、売上高は54億23百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は3億7百万円（前年同期営業利益2億62百万円）となりました。

〔システム機器販売事業〕

当事業は主要顧客等からの受注が減少し、売上高は46億94百万円（前年同期比1.8%減）、営業損失は1億63百万円（前年同期営業損失1億48百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億38百万円減少して、7億54百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収が進んだこと等により6億3百万円の資金の増加となりました。（前第2四半期連結累計期間は7億30百万円の資金の増加）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは、預け金が増加したこと等により9億46百万円の資金の減少となりました。（前第2四半期連結累計期間は1億24百万円の資金の減少）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金を支払ったこと等により95百万円の資金の減少となりました。（前第2四半期連結累計期間は55百万円の資金の減少）

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、45百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,840,000
計	23,840,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,355,000	6,355,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	6,355,000	6,355,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日 ~ 平成23年9月30日	-	6,355,000	-	685,927	-	250,015

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
三菱重工業株式会社	東京都港区港南二丁目16番5号	1,990	31.31
菱友社員持株会	東京都港区高輪二丁目19番13号	1,697	26.70
三菱電機株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号	283	4.45
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	258	4.05
三菱自動車工業株式会社	東京都港区芝五丁目33番8号	250	3.94
加藤 真人	神奈川県横浜市	190	2.98
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社信託口	東京都港区浜松町二丁目11番3号	121	1.90
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目2番1号	75	1.18
石塚 文代	栃木県日光市	59	0.92
明治安田生命保険相互会社	東京都中央区晴海一丁目8番12号	56	0.88
株式会社リョーイン	東京都港区芝五丁目34番6号	56	0.88
計	-	5,037	79.26

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,344,000	6,344	-
単元未満株式	普通株式 5,000	-	-
発行済株式総数	6,355,000	-	-
総株主の議決権	-	6,344	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社菱友システムズ	東京都港区高輪二丁目19 番13号	6,000	-	6,000	0.09
計	-	6,000	-	6,000	0.09

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,415	754,091
受取手形及び売掛金	6,156,584	4,420,301
商品	220,962	290,269
仕掛品	405,904	772,571
その他	1,461,567	2,316,707
貸倒引当金	12,684	9,466
流動資産合計	9,424,750	8,544,475
固定資産		
有形固定資産	1,498,331	1,475,373
無形固定資産	251,719	246,108
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,358,195	1,360,761
その他	557,843	594,637
投資その他の資産合計	1,916,038	1,955,398
固定資産合計	3,666,089	3,676,881
資産合計	13,090,839	12,221,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,490,918	915,716
未払費用	2,115,267	2,016,440
未払法人税等	207,296	118,211
工事損失引当金	149,785	72,934
その他	471,058	350,662
流動負債合計	4,434,325	3,473,965
固定負債		
退職給付引当金	3,246,234	3,297,424
役員退職慰労引当金	100,414	103,827
その他	75,714	66,769
固定負債合計	3,422,362	3,468,020
負債合計	7,856,688	6,941,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	685,927	685,927
資本剰余金	250,015	250,015
利益剰余金	4,238,662	4,288,047
自己株式	3,953	3,965
株主資本合計	5,170,650	5,220,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,245	1,505
土地再評価差額金	427,720	427,720
その他の包括利益累計額合計	422,474	426,215
少数株主持分	485,975	485,560
純資産合計	5,234,151	5,279,370
負債純資産合計	13,090,839	12,221,356

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	12,960,702	13,479,084
売上原価	10,907,880	11,398,494
売上総利益	2,052,821	2,080,590
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	1,030,940	945,917
その他	1,042,379	940,763
販売費及び一般管理費合計	2,073,319	1,886,681
営業利益又は営業損失()	20,497	193,909
営業外収益		
受取利息	1,117	1,523
受取配当金	603	1,675
助成金収入	17,800	5,384
その他	486	532
営業外収益合計	20,007	9,115
営業外費用		
支払利息	81	338
固定資産除却損	50	815
貸倒損失	131	-
営業外費用合計	264	1,153
経常利益又は経常損失()	754	201,870
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,756	-
特別利益合計	3,756	-
税金等調整前四半期純利益	3,002	201,870
法人税等	12,590	77,871
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	9,588	123,999
少数株主利益	8,226	11,126
四半期純利益又は四半期純損失()	17,814	112,872

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	9,588	123,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,731	3,740
その他の包括利益合計	5,731	3,740
四半期包括利益	15,319	120,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,545	109,132
少数株主に係る四半期包括利益	8,226	11,126

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,002	201,870
減価償却費	109,759	110,727
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,756	3,218
工事損失引当金の増減額(は減少)	115,241	76,850
退職給付引当金の増減額(は減少)	12,881	4,633
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,778	3,413
固定資産除却損	50	815
受取利息及び受取配当金	1,720	3,199
支払利息	81	338
売上債権の増減額(は増加)	1,751,004	1,738,662
たな卸資産の増減額(は増加)	380,372	435,974
その他の流動資産の増減額(は増加)	21,174	27,281
仕入債務の増減額(は減少)	494,111	575,201
未払費用の増減額(は減少)	102,284	98,827
その他の流動負債の増減額(は減少)	31,028	119,969
小計	811,511	774,502
利息及び配当金の受取額	1,720	2,761
利息の支払額	81	338
法人税等の支払額	82,605	173,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	730,545	603,824
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	36,242	38,287
無形固定資産の取得による支出	6,997	34,688
有形固定資産の売却による収入	-	73,910
短期貸付金の純増減額(は増加)	81,689	244,662
預け金の増減額(は増加)	-	1,197,006
その他	40	4,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	124,889	946,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	15,019	20,168
自己株式の取得による支出	513	11
配当金の支払額	31,756	63,487
少数株主への配当金の支払額	7,996	11,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,287	95,208
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	550,368	438,324
現金及び現金同等物の期首残高	795,460	1,192,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,345,829	754,091

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【追加情報】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)
現金及び預金勘定 1,345,829千円	現金及び預金勘定 754,091千円
現金及び現金同等物 1,345,829千円	現金及び現金同等物 754,091千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年4月28日 取締役会	普通株式	31,756	5	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月28日 取締役会	普通株式	63,487	10	平成23年3月31日	平成23年6月21日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	情報処理サービス事業	システム開発事業	システム機器販売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	3,216,516	4,962,216	4,781,969	12,960,702	-	12,960,702
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	10,512	-	37,897	48,409	48,409	-
計	3,227,028	4,962,216	4,819,866	13,009,111	48,409	12,960,702
セグメント利益又は損失()	108,198	262,843	148,409	6,235	26,732	20,497

(注)1.セグメント間取引消去によるものです。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	情報処理サービス事業	システム開発事業	システム機器販売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	3,361,329	5,423,355	4,694,399	13,479,084	-	13,479,084
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	22,781	-	53,806	76,587	76,587	-
計	3,384,110	5,423,355	4,748,205	13,555,672	76,587	13,479,084
セグメント利益又は損失()	49,449	307,902	163,443	193,909	-	193,909

(注)1.セグメント間取引消去によるものです。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	2円81銭	17円78銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	17,814	112,872
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	17,814	112,872
普通株式の期中平均株式数(株)	6,350,555	6,348,729

(注)1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社菱友システムズ
取締役社長 富田 敏徳 殿

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田村 保広 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石井 一郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥田 穰司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社菱友システムズの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社菱友システムズ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。